



ユーザ設定値の設定

- [エンドユーザ設定の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ユーザ設定の前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [ユーザ設定タスクフローの設定 \(3 ページ\)](#)

エンドユーザ設定の概要

サービスプロファイルや機能グループテンプレートなどのユーザ設定を使用して、LDAP ディレクトリ同期を介してエンドユーザに共通の設定を適用できます。LDAP ディレクトリの同期が行われると、設定された設定が同期されたすべてのユーザに適用されます。



(注) この章では、特に IM and Presence サービスに適用されるユーザ設定について説明します。ボイスメールや会議などの UC サービスを含む、一般的な UC ユーザ設定については、の「エンドユーザの設定」を参照してください。Cisco Unified Communications Manager システムコンフィギュレーションガイド。LDAP 同期の一部としてこれらの設定を適用できます。

サービスプロファイル

サービスプロファイルには共通ユニファイド コミュニケーション (UC) サービスの設定が含まれています。異なるユーザグループごとに異なるサービスプロファイルを設定でき、その結果、各グループのユーザが、仕事に合わせて設定された適切なサービスを利用できます。エンドユーザが IM and Presence サービスにアクセスできるようにするには、IM and Presence サービスが含まれるようにサービスプロファイルを設定します。

エンドユーザにサービスプロファイルを適用するには、次の方法を使用します。

- LDAP 同期されたユーザ向け：LDAP ディレクトリからエンドユーザをインポートした場合、サービスプロファイルを機能グループテンプレートに割り当てることができ、その機能グループテンプレートをエンドユーザに適用できます。テンプレートの設定は、同期されているすべてのユーザに適用されます。

- アクティブなローカルユーザ（つまり、LDAP ユーザ以外） - 一括管理ツールを使用して CSV ファイルまたはスプレッドシートを介してサービスプロファイル設定を適用します。一括管理ツールの使用方法の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html> を参照してください。

それ以外の場合は、ユーザごとに手動でユーザ設定を構成できます。

機能グループテンプレートの概要

機能グループテンプレートを使用すると、LDAP ディレクトリの同期を通じて、共通設定をエンドユーザのグループにすばやく適用できます。たとえば、機能グループテンプレートを使用して、エンドユーザに対して **IM and Presence** サービスを有効にすることができます。これは、**IM and Presence** 対応のサービスプロファイルをテンプレートに適用することによって実現されます。機能グループテンプレートを LDAP ディレクトリ同期に適用すると、同期が行われると、設定されたサービスプロファイルとユーザプロファイルの設定を含むテンプレートからの設定が、同期されたすべてのユーザに適用されます。

機能グループテンプレート設定には、機能グループテンプレートに割り当てられる次のプロファイルが含まれます。

- ユーザプロファイル：一連の共通の電話および電話回線の設定が含まれます。ユーザプロファイルには、共通の電話回線設定を割り当てるユニバーサル回線テンプレートと、共通の電話設定を割り当てるユニバーサルデバイステンプレートを設定する必要があります。これらのテンプレートは、セルフプロビジョニングするように設定されているユーザが自身の電話を設定する際に役立ちます。
- サービスプロファイル：IM and Presence サービス、ディレクトリ、ボイスメールなどの一般的な UC サービスのグループが含まれています。

ユーザ設定の前提条件

ユーザを移動したい場合 IM and Presence サービスクラスタの場合は、エンドユーザを設定する前に設定する必要があります。Cisco Unified CM IM and Presence の管理を使用して、ユーザを移行し、連絡先リストをエクスポートおよびインポートする方法についての詳細。



- (注) クラスタ間でのユーザの移行を、パーティション化ドメイン内フェデレーションに使用されるユーザ移行ツールと混同しないでください。



- (注) Cisco Jabber を VPN 経由で接続している場合は、IM and Presence Service と Cisco Jabber クライアント間の TLS ハンドシェイク中に、IM and Presence サーバでクライアントの IP サブネットに対する逆引き参照が実行されます。逆引き参照に失敗すると、クライアントマシンで TLS ハンドシェイクがタイムアウトします。

ユーザ設定タスクフローの設定

IM and Presence サービスに対してエンドユーザを有効にするなど、共通のサービスおよび機能設定を使用してユーザテンプレートを設定するには、次の作業を実行します。LDAP 同期が完了すると、テンプレート設定がエンドユーザに適用されます。



- (注) この章のタスクフローは、IM and Presence サービスに特に適用されるユーザ設定です。ボイスメールや会議などの UC サービスを含む、一般的な UC ユーザ設定については、の「エンドユーザの設定」を参照してください。Cisco Unified Communications Manager システムコンフィギュレーションガイド。LDAP 同期の一部としてこれらの設定を適用できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ユーザー割り当てモードの設定 (4 ページ)	ユーザー割り当てモードを平衡、アクティブ-スタンバイ、またはなしに設定します。
ステップ 2	IM and Presence UC サービスの追加 (4 ページ)	IM and Presence UC サービスを Cisco Unified Communications Manager に設定する。
ステップ 3	サービス プロファイルの設定 (5 ページ)	追加した IM and Presence UC サービスが含まれるサービス プロファイルを設定します。
ステップ 4	機能グループ テンプレートの設定 (6 ページ)	他の共通の機能設定に加えて設定したサービスプロファイルを含む機能グループ テンプレートを設定します。

次のタスク

LDAP 同期を完了して、LDAP 同期ユーザに設定を適用します。

ユーザー割り当てモードの設定

この手順を使用すると、Sync Agent がクラスタ内のノードにユーザを分散させる方法を設定できます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。

ステップ 2 [ユーザ管理パラメータ (User Management Parameters)] 領域で、[プレゼンスサーバのユーザー割り当てモード (User Assignment Mode for Presence Server)] パラメータに次のいずれかのオプションを選択します。

- [バランス (Balanced)] : このモード (デフォルト) では、ユーザを各サブクラスタのそれぞれのノードに均等に割り当て、各ノードにユーザの合計数が均等に分散するようにします。これがデフォルトのオプションです。
- [アクティブスタンバイ (Active-Standby)] : このモードでは、サブクラスタの最初のノードにすべてのユーザを割り当て、セカンダリサーバをバックアップのままにします。
- [なし (None)] : このモードでは、Sync Agent でクラスタのノードにユーザが割り当てられません。

ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

[IM and Presence UC サービスの追加 \(4 ページ\)](#)

IM and Presence UC サービスの追加

Cisco Unified Communications Manager でこの手順を使用して、IM and Presence サービス用の UC サービスを追加します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [UC サービス (UC Service)] を選択します。

ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。

ステップ 3 [UC サービスタイプ (UC Service Type)] ドロップダウンリストボックスから、[IM and Presence] を選択します。

ステップ 4 [製品タイプ (Product Type)] ドロップダウンリストボックスから、[Unified CM (IM and Presence)] を選択します。

ステップ 5 IM and Presence サービスの [名前 (Name)] と [説明 (Description)] を入力します。

ステップ 6 [ホスト名/IPアドレス (Hostname/IP Address)] フィールドに、IM and Presence サービスをホストするサーバのホスト名、IP アドレス、または DNS SRV を入力します。

ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

IM and Presence サービスのユーザを有効にするには、UC サービスをサービス プロファイルに割り当て、そのプロファイルをユーザに割り当てます。

[サービス プロファイルの設定 \(5 ページ\)](#)。

サービス プロファイルの設定

この手順を使用すると、IM and Presence サービスが含まれるサービス プロファイルを設定できます。

始める前に

[IM and Presence UC サービスの追加 \(4 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [サービスプロファイル (Service Profile)] を選択します。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- [検索 (Find)] をクリックし、既存のプロファイルを選択します。
- [新規追加 (Add New)] をクリックして新しいプロファイルを作成します。

ステップ 3 [IM and Presenceプロファイル (IM and Presence Profile)] セクションで、**プライマリ IM and Presence** サーバを選択します。

ステップ 4 [サービスプロファイルの設定 (Service Profile Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドとその設定を含むヘルプは、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

[機能グループ テンプレートの設定 \(6 ページ\)](#)

機能グループテンプレートの設定

共通の機能設定と、設定した IM and Presence 対応サービス プロファイルを含む機能グループテンプレートを設定します。

始める前に

[サービスプロファイルの設定 \(5 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [機能グループテンプレート (Feature Group Template)] を選択します。
 - ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
 - ステップ 3 機能グループテンプレートの [名前 (Name)] と [説明 (Description)] を入力します。
 - ステップ 4 このテンプレートを使用するすべてのユーザのホーム クラスタとしてローカルクラスタを使用する場合は、[ホームクラスタ (Home Cluster)] チェック ボックスをオンにします。
 - ステップ 5 このテンプレートを使用するユーザがインスタントメッセージおよびプレゼンス情報を交換できるようにするには、[Unified CM IM and Presenceのユーザを有効化 (Enable User for Unified CM IM and Presence)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 6 ドロップダウンリストから、[サービスプロファイル (Services Profile)] および [ユーザプロファイル (User Profile)] を選択します。
 - ステップ 7 [機能グループテンプレートの設定 (Feature Group Template Configuration)] ウィンドウの残りのフィールドに入力します。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。
 - ステップ 8 [保存] をクリックします。
-

次のタスク

この機能グループテンプレートを含むLDAPディレクトリ同期を設定します。LDAP同期を完了すると、テンプレート内の IM and Presence の設定が同期済みユーザに適用されます。[LDAP同期設定のタスク フロー](#)を参照してください。